



子どもを水の事故から守ろう

～ 夏期における水難防止期間 ～

いよいよ水に親しむシーズンとなり、海や川などで子どもたちの水遊びが盛んになってきます。例年、この時期には、子どもたちの痛ましい水の事故が多くなることから、警察では「夏期における水難防止期間」として、子どもを水の事故から守る活動を行います。

今年も子どもを痛ましい水の事故から守るため、次の点に注意してください。

◎水の怖さの再確認を！

本格的な水のシーズンを迎える前に、家庭や学校などで水の怖さについて話し合い、危険な場所での水遊びなど、「してはいけないこと」を再確認しましょう。

◎危険な場所の点検を！

流れの速い場所や急に深くなっている場所など危険な場所がないか、身近な水辺の点検をお願いします。

◎子どもだけでの水遊びには注意を！

子どもだけで水遊びをしている場合は、危険ですので、声をかけて止めさせましょう。

◎ライフジャケットの着用を！

釣りやボート遊びなどで水に入るときは、ライフジャケットを着用し、ウォーターシューズなど濡れても良く、脱げない靴を履くようにしましょう。

大人の方も、釣りなどの際には必ずライフジャケットの着用をお願いします。



◎幼児から目を離さない！

保護者が同伴していても油断せず、幼児から絶対に目を離さないようにしましょう。

★痛ましい水の事故防止のため、危険な水遊びなどを見かけた際には、最寄りの警察署・交番・駐在所・パトロール中の警察官にご連絡ください。地域の皆様のご協力をお願いします。

シートベルトは大切な命を守ります！

シートベルトの着用率について、昨年全国で実施した調査では

	一般道路			高速道路		
	運転者	助手席同乗者	後部座席同乗者	運転者	助手席同乗者	後部座席同乗者
高知県	98.4%	94.4%	26.0%	99.6%	100%	82.9%
全国	98.4%	94.6%	35.1%	99.4%	98.0%	71.3%

となっており、運転者、助手席同乗者ともに9割以上の方が着用していますが、一般道路の後部座席同乗者の着用率は3割台と、依然として低い数字を示しています。

シートベルトは交通事故に遭った場合、

- ◆車内での二次衝突を防止・軽減する
- ◆危険な車外放出を防止する
- ◆正しい姿勢は、疲労を軽減し、動体視力などの低下を防ぐ



など、様々な効果がありますので、乗ったら必ず着用しましょう。

■子どもにはチャイルドシートを

カーブ走行中や急ブレーキ時に座席から子どもが転落し、けがをするという車内事故が少なくありません。また、車が衝突したとき、大人がいくら強く抱っこしていても、子どもを支えることはできません。

※体重10キロの子どもを抱っこした場合、時速40キロで衝突した瞬間には、体重の約30倍(300キロ)の衝撃が腕にかかります。

幼児(6歳未満)には、体型に応じたチャイルドシート(幼児用・児童用など)を使用しましょう。



人権擁護委員無料相談のご案内

地区	今月の相談日	相談時間	開催場所
伊野	7月20日(水)	13:30~16:30	あったかふれあいセンター(すこやかセンター伊野内)
本川	7月21日(木)	13:00~16:00	本川保健福祉センター

法務局相談窓口・問い合わせ

(祝休日を除く月~金曜日 受付 8:30~17:00)

高知地方方法務局人権擁護課 ☎ 822-3503

人権擁護委員の連絡先

氏名	住所	電話番号
杉本 寛子	いの町6466-5	☎ 892-2513
井上 晃	〃 加田599	☎ 892-1154
藤木 栄子	〃 天王南9丁目12-2	☎ 891-6684
金子 覺	〃 枝川826-1	☎ 893-2135
坂本 美加	〃 波川2128-3	☎ 892-4899
高橋美智子	〃 上八川甲1920	☎ 867-2426
山本 周児	〃 戸中81-5	☎ 873-5422